

---

# 2014年度第2四半期決算説明会

---

**株式会社 やまねメディカル**

2014年11月

# 本日のプログラム

- I. 2014年度上期(第2四半期累計)決算概要
- II. 2014年度上期の総括と下期の事業戦略
- III. 2014年度業績予想と配当計画

# I. 2014年度上期(第2四半期累計)

## 決算概要

# (1) 2014年度上期(第2四半期累計)損益概要

(単位:百万円)

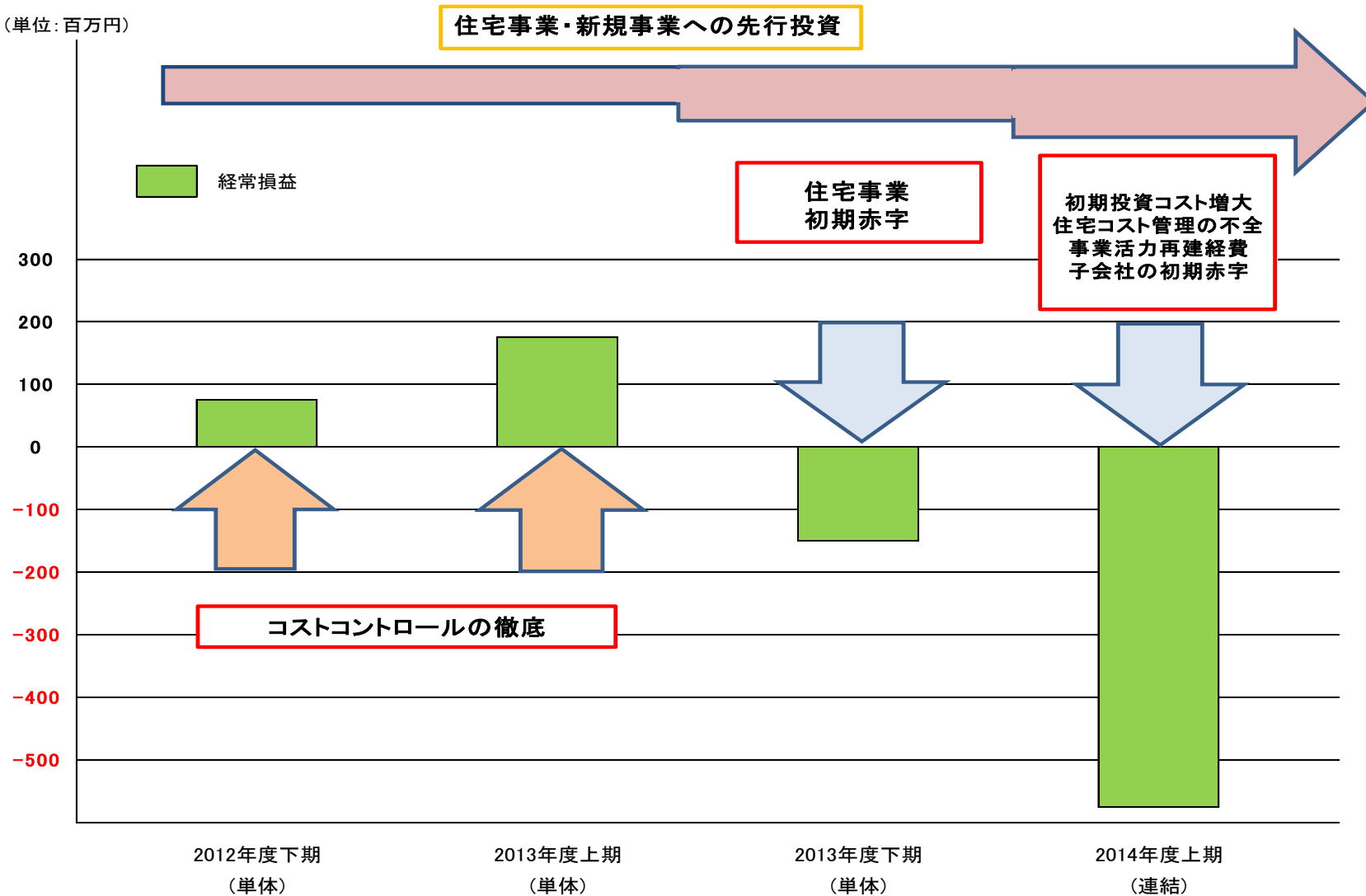
	2013年度上期 (単体)	2014年度上期 (連結)
営業収入	2,662	3,077
営業利益	181	△571
経常利益	173	△586
当期純利益	102	△416



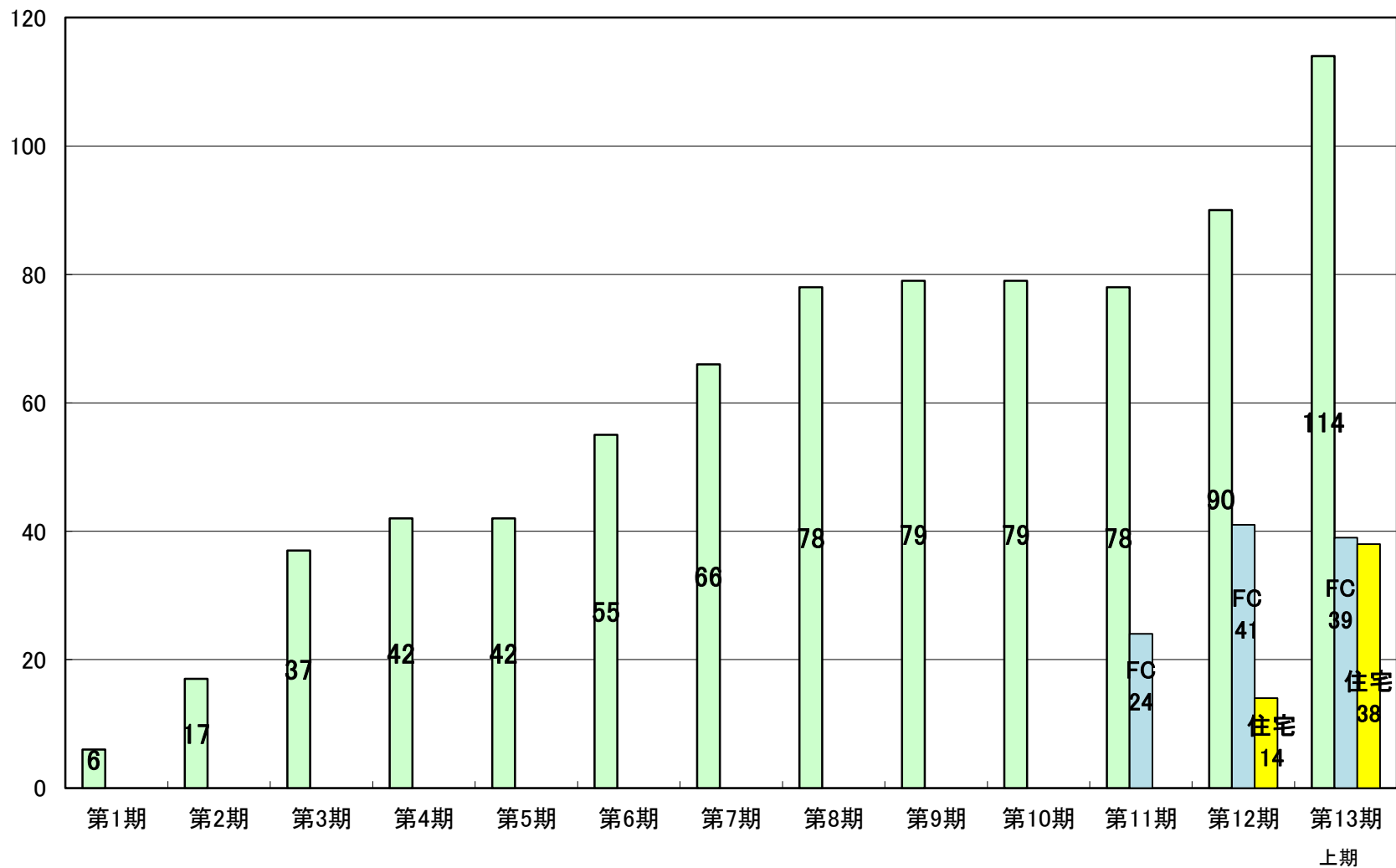
- ① 営業収入は、施設数の増加により増収。
- ② 利益は、諸コスト増加要因が集中して重なった結果、大幅減益。

## (2) 経常利益の推移

(単位: 百万円)



### (3) 施設数の推移



# (4) 比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2014年3月 (単体)	2014年9月 (連結)	増減		2014年3月 (単体)	2014年9月 (連結)	増減
現金預金	1,702	1,498	△204	短期金融負債	849	1,071	222
営業未収入金	901	1,061	160	その他	525	644	119
その他	250	217	△33	流動負債計	1,374	1,715	341
流動資産計	2,853	2,776	△77	社債	337	255	△82
有形固定資産計	846	818	△28	長期借入金	1,153	1,523	370
無形固定資産計	11	19	8	その他	173	220	47
投資その他資産計	657	960	303	固定負債計	1,663	1,998	335
固定資産計	1,514	1,797	283	負債合計	3,037	3,713	676
				資本金	304	304	-
				剰余金等	1,025	555	△470
				株主資本計	1,329	859	△470
				純資産合計	1,331	860	△471
資産合計	4,368	4,574	206	負債純資産合計	4,368	4,574	206

## (5) キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)

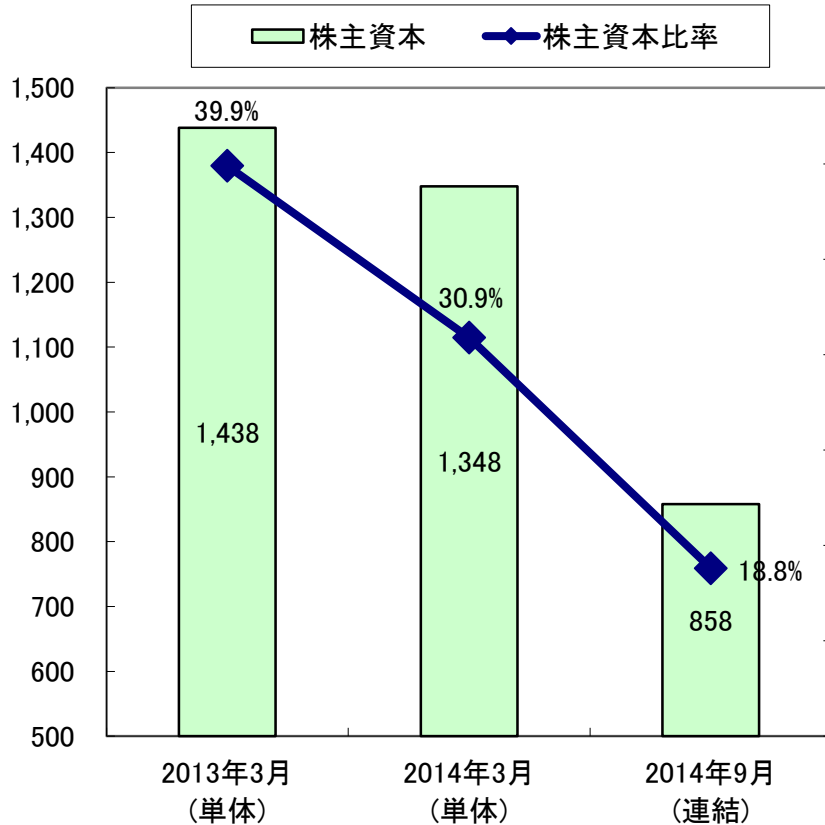
	2014年度(第13期)連結
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△536
税引前純利益	△600
減価償却費等	50
売上債権の増加額	△169
未払金の減少	136
法人税等の支払額	△1
その他	48
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△187
(フリー・キャッシュ・フロー)	△723
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	502
IV 現金及び現金同等物の増加額	△221
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,719
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,498



# (6) 株主資本と有利子負債の状況

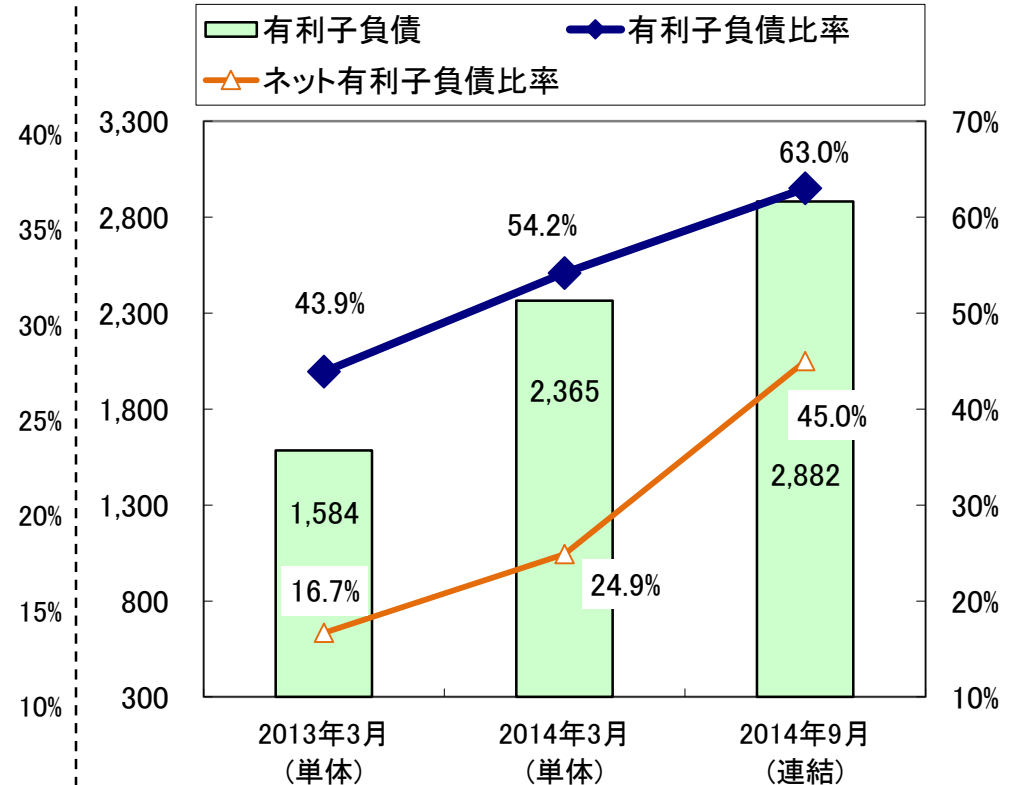
## 株主資本

(単位:百万円)



## 有利子負債

(単位:百万円)



現預金保有高と有利子負債の両建を調整したネット数値での財務状況は比較的健全

# Ⅱ. 2014年度上期の総括と 下期の事業戦略

# (1) 上期業績の総括(分析と課題)

- ① 通所介護事業  
売上伸び悩み → 再生の推進中
- ② サービス付き高齢者向け住宅事業  
入居の進捗は改善 → 満室のスピードアップ
- ③ 全体の経費増大
  - 1) 経費コントロールの不良 → 改善活動中
  - 2) 上記再生のための経費膨張 → 再生後改善予定
- ④ 周辺事業  
フード(給食、弁当)事業の初期赤字 → コスト管理推進中

## (2) 事業環境

- ① 高齢者人口増加による介護需要の拡大基調持続  
介護保険費用は現在の9兆円から2025年20兆円超へ
- ② 医療介護政策の動向  
施設から在宅、医療から介護への方向性
- ③ 「地域包括ケアシステム」の推進  
サ付き住宅と通所介護に期待される役割は大
- ④ 2015年度以降の通所介護事業の方向性
  - 1) 小規模施設の抑制
  - 2) 役割と機能の明確化

## (3) 下期の事業戦略

### <目標> 反転攻勢

- ① 通所介護事業の再生推進
- ② シナジーネットワーク戦略の推進
- ③ 新規事業の推進と早期黒字化
- ④ 組織の精強化 — 精強集団の形成

# ① 通所事業の再生推進

## 1) 当社の伝統的強みの発揮

(a) 多様なサービスメニューの提供

(b) 重度者の受入れ促進

## 2) サービス品質の向上

## 3) 営業体制の強化

⇒ **利用登録者は増加基調に転換**

## ② シナジーネットワーク戦略の推進

### 1) 住宅事業推進

- ・ 今期の施設新設は30程度を予定

### 2) 訪問事業開始

- ・ 訪問介護事業(11月～)
- ・ 訪問看護事業(12月～)

### 3) その他周辺事業推進

- ・ 自社施設向けフード(給食、弁当)事業開始
- ・ M&Aにも積極的に取り組み多角化を積極推進

### ③ 新規事業の推進と早期黒字化

#### 1) 住宅事業の推進

(a) 入居者獲得のノウハウを確立

(b) 開設から満室までの期間短縮

#### 2) 訪問介護・訪問看護事業の開始

(a) 地域包括ケア機能の強化

(b) 通所介護とのシナジーによる早期本格稼働

#### 3) その他介護周辺サービス事業

フード・サービス事業の早期黒字化



## ④ 組織の精強化

### 1) 精強教育の推進

(a) 企業理念の浸透

(b) 職務への責任感、使命感

(c) 知識の向上・スキルの練磨

### 2) 会社方針の組織の隅々への徹底

### 3) 人材改善活動

採用体制の強化による有能な人材の増強

# Ⅲ. 2014年度通期業績予想と 配当計画

# (1) 2014年度下期及び通期業績予想数値

(単価:百万円)

	上期	下期	通期
営業収入	3,077	3,598	6,675
営業利益	△571	△320	△891
経常利益	△586	△334	△920
当期純利益	△416	△256	△672

## (2) 下期以降の業績トレンド予想

### ① 2014年度下期

- (a) 営業収入の増収はさらに加速
- (b) 経常損益は年度末に単月黒字化

### ② 2015年度

- (a) 期初から黒字基調
- (b) 利益成長トレンドの復活

## (3) 配当計画について

株主様のご支援への感謝と次期以降の  
利益成長を勘案して、1円/株で据置き方針

- 本資料は、我が国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づき作成された2015年3月期第2四半期の業績、並びに2015年3月期の予想業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、2014年11月14日現在のデータに基づき作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社やまねメディカルに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。